



みんなのひろば

令和6年4月発行
 庄内町子育て支援センターこっころ
 ☎42-2268
 *事業中に記録用の写真を撮らせていただきます。

「1歳のひろば」を改め、対象年齢を広げて「みんなのひろば」がスタートします。1歳以上のお友達ならどなたでも参加できます。別刷りの年間予定表や毎月15日発行のこっころだよりでご確認ください。その月の活動内容によっては、0歳のお友達も一緒に楽しむことができます。

入園や進級・転勤等で4月は何となく気ぜわしい感じがします。庄内町に転入された方、心配なことはありませんか。外遊びできる公園や子育て情報、おいしい食べ物や庄内ことばなど、「こっころ」でお話しましょう！お家で子育てされている方、親子リフレッシュしましょう！来館をお待ちしています。

「育脳」を深ぼりしてみよう 脳科学の観点から シリーズ1

ふとした時に感じるお子さんの成長。乳幼児期は「できる」ようになることがたくさんありますが、その成長と発達には脳が深く関わっています。人間の機能の大部分は脳が担っている訳ですから、脳の育ち≒発達と考えることができそうです。お子さんとの関わりの中から、脳科学を探ってみましょう。

●脳の3つのパート●

★「からだの脳」最初にきちんと育てられるべき脳

- ・生命の維持
- ・0歳～5歳で盛んにつくられる

★「お利口さんの脳」1歳頃から育ちが始まる

- ・言語・微細運動・勉強・スポーツ
- ・1歳～18歳まで時間をかけてつくられる

★「こっころの脳」10歳過ぎた頃から育つ

- ・論理的思考・状況判断
- ・からだの脳とお利口さんの脳をつなぐことで育つ

◆子どもが生まれてから18年の間にどのように脳育てを行うかが、その子の成人期の様子に大きく影響しますが、最も大切な時期は「からだの脳」をつくる乳幼児期です。まさに、皆さんが直面している“今”ですね。

◆脳育てを建築に置き換えると、「からだの脳」は最初に手掛ける、家を支える一階部分。「お利口さん」な二階を最初に作るのは不可能ですし、二階ばかりを大きく頑丈に作ってもとてもバランスが悪く、崩壊の危険性があります。そして、一階と二階をつなぐ階段が「心の脳」です。イメージできましたでしょうか。

◆「からだの脳」をしっかり作るために大人が心がけることは、太陽のリズムに従う生活です。

◆順番とバランスが崩れた脳では、良い人間関係を築くことができなかつたり、思春期前後に様々な問題が出てくることもあります。

具体的な生活の深ぼりは、来月のおたよりで！！



この本だいすき！

「アリのおでかけ」

作/西村敏雄 (白泉社)

アリさんたちを乗せた真っ赤なバスが、ガタゴト ガタゴト走ります。いつの間にか思いがけないところを走っていてビックリ。ページをめくった時の意外性を楽しんでね。



5月のひろば

5月10日(金)

10:30～(45分程度)

音楽遊び 講師/我妻小巻氏
 絵本の読み聞かせ

※ひろばの前後は自由に遊べます

※0歳のお友達も参加できます

申し込み
 QRコード

